

## ごあいさつ

輝かしい新年を迎え、謹んで皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。  
 昨年9月16日に始まりました平成20年第2回定例会が12月19日に閉会をいたしました。95日間の会期日程を生かし、補正予算の審議にあたり52年ぶりの公聴会を開き、58年ぶりの予算修正が行われるなど、年2回制の効果が感じられた定例会でした。その概要も含め、活動の一端をご報告いたします。

# 58年ぶりの予算修正をしました！

## 質問項目

- (1) 「美し国おこし・三重」基本計画と補正予算
- (2) 「新県立博物館」建設について
- (3) 伊賀地域の問題について取り組んだこと

## ※公述人とは

公聴会(委員会が審議の参考にするため関係者の意見を聴く会)で意見を述べる人で、公募により選ばれます。これに対して、参考人は委員会が有識者等の中から指名します。



なんと！入館料、大人40円です。



2007年9月19日撮影。タイル崩落防止のためシートで覆われています。現在閉館中。

## (1)「美し国おこし・三重」基本計画と補正予算

執行部からの提案から修正可決までの流れをまとめ、ご報告いたします。

### ○2008年9月16日(本会議)

執行部から第2回定例会開会日に「美し国おこし・三重」関連では

- ①基本計画(6年間で36億円の事業計画)
- ②補正予算として準備費用3280万4000円の2つが提案されました。

### ○2008年10月1日(政策総務常任委員会)

「基本計画」「補正予算」に関して議論し、さらに議論を深めるため公聴会(昭和31年以来52年ぶり)及び参考人招致を行うことを決定しました。

### ○2008年10月22日(政策総務常任委員会)

公述人と参考人の募集・選定期間を経て、公聴会および参考人招致を実施しました。2名の公述人から意見聴取し、その後2名の参考人からも意見聴取しました。たくさんのご意見、ご示唆をいただきました。

### ○2008年10月28日(政策総務常任委員会)

これまでの議論を踏まえ「①基本計画」の修正を執行部に求めることになりました。

①作成及び取り組みの主体を「実行委員会」ではなく「三重県」とし、取り組みにおける県の役割と責任を明記すること。

②工程の管理、評価と検証を行い、これらを県議会へ報告するとともに、基本計画の見直しを行うことを明記すること。

③地域でのプロジェクト認定について、市町の裁量を広げ、市町の既存の施策への認定が行えるようにすること。

④取り組みの評価・検証は、他の取り組みとの比較をするものではないことを明記すること。

⑤「6年間」の記述を削除し、「全体事業費」と「年度別県支出額」を削除すること。

⑥県の計画であることから「市町の費用負担」については削除すること。

### ○2008年10月30日(本会議)

「基本計画」が修正要求中で議会の了承を得られていないため「補正予算3280万4000円」分を減額修正(昭和25年以来58年ぶり)して可決しました。

### ○2008年11月5日(政策総務常任委員会)

「基本計画」が修正提案され、議会の意見が反映されていたため承認しました。

### ○2008年11月10日(本会議)

「基本計画(修正)」及び「補正予算3280万4000円」を可決しました。

## (2)「新県立博物館」建設について

現在の県立博物館(昭和28年開館、左の写真)が老朽化し、収蔵スペースも不足していることから新県立博物館を三重県総合文化センター横に建設しようとするもので、整備計画は1期分10,000㎡(展示・収蔵)と2期分2,000㎡(収蔵庫の増設)に分けられています。1期分で120億円かかり、2009年度に基本設計、2010年度から用地買収・建設工事、2014年に開館となっています。

議会では建設費120億円と毎年の維持管

理費4億5000万円が県財政を圧迫するのではないかという意見が出されたため、議会の調査機関として2008年9月に設置した「財政問題調査会」に意見を聞き「財政的な圧迫はほとんどない」との回答であったこと、パブリックコメントや意見交換会でほとんど反対意見が出ていないことから基本計画を了承し、2009年度から行う建築・展示の基本、実施設計費として3億5000万円の債務負担行為を設定するための議案を可決しました。

今年度は、県議会において以下の仕事をしています。

- 県土整備企業常任委員
- 予算決算常任委員
- 救急医療体制調査特別副委員長
- 環境審議会委員



2008年7月18日上野遊水地を委員会視察

県政に対するご意見、ご要望などがございましたら  
お気軽にご連絡ください。

ホームページもご覧ください。 <http://www.morino.biz/shinji/>

### 森野真治事務所

10:00～18:00(土・日・祝除く)

〒518-0873

伊賀市上野丸之内117-21

電話 0595(23)6060

FAX 0595(48)6233

Email: shinji@morino.biz

しんじ す

### 心耳を澄ますこと

皆様の声に心の耳を澄ませ、  
県政へと届けてまいりたいと  
いう思いを込めています。

## (3)伊賀地域の問題について取り組んだこと

### ○県伊賀水道の伊賀市への譲渡について

合併前の1市3町2村の要望により平成10年から県が行っている、川上ダムを水源とする「伊賀水道用水供給事業」ですが、合併により伊賀市となり、市町村をまたがなくなったため県のすべき事業ではなくなったということで、伊賀市への譲渡について協議されてきました。

ゆめが丘に建設中の浄水場や配水管などの建設事業費220億円(利息を入れると276億円)をいくらかで譲渡するかで県と伊賀市が折り合いがつかない中、私も委員会で伊賀市の水道料金を少しでも安くとの思いで訴えました。2008年7月19日には県土整備企業常任委員会の県内調査で「伊賀市水道部」を訪問調査し、2008年9月に県は276億円のうち約80億円を負担する譲渡案を提示しました。

今後は2009年4月から給水開始予定ですが、2009年度は県営のまま伊賀市へ業務委託となり、2010年度から伊賀市に譲渡されます。伊賀市内の水道料金の統一時期や金額については、現在伊賀市で議論されています。

### ○ORDF処理委託料の値上げについて

青山地区を除く市内の可燃ごみは「さくらリサイクルセンター」でRDF(ごみ固形燃料)にされ、名阪を通過して桑名にある県営のRDF焼却・発電施設へ運んで1tあたり5,058円払って引き取ってもらっています。搬入されるRDFのうち50%は桑名、25%は伊賀、残り25%がその他の市町で作られたものです。

県は2008年度から引き取り料を9,420円に値上げしたいと関係市町へ打診し、関係市町は反対して

いました。私も料金の値上げは伊賀市のごみ処理費の増加につながりますので反対し、2008年7月19日の県土整備企業常任委員会の県内調査で「さくらリサイクルセンター」を訪問調査、2008年7月24日に県は赤字の半分を負担するという譲渡案を市町に提示しました(2009年度から毎年少しずつ段階的に9,420円へ上げていきます)。

今後は更なる経営努力で値上げ幅の縮減や2017年以降の事業継続について要望してまいります。

### ○伊賀の救急医療体制について

伊賀地域の救急病院の医師不足により、2008年4月から救急当番が上野総合市民病院、岡波総合病院、名張市立病院の3つの病院で輪番制になりました。しかし、受け入れ拒否が発生したり、搬送距離が長くなったので当番病院よりも隣の市町村の救急病院に行ったほうが距離的に近い場合が生じていますが、ルール化されていないため搬送できないなど様々な問題が発生しています。また、今後1人でも医師が減少すると輪番制が保てないことや2009年4月以降の輪番表がいまだに白紙であることなど差し迫っている課題もあります。

私も救急医療体制調査特別委員会で伊賀の現状を訴え、2008年11月17日には特別委員会で「伊賀市消防本部」を訪問し、現状を調査いたしました。2008年12月12日の特別委員会では執行部を交え、伊賀の問題について集中的に議論しましたが時間切れとなり、2009年1月20日に続行されることになっています。

引き続き、伊賀の救急医療を守るため訴えます。